

舞鶴市位置図



オオミズナギドリと冠島



舞鶴引揚記念館・引揚記念公園



舞鶴自然文化園

舞鶴市一般廃棄物最終処分場位置図



舞鶴市一般廃棄物最終処分場



舞鶴市市民環境部環境対策室生活環境課

〒625-8555

京都府舞鶴市字北吸 1044 番地

電話 0773-66-1006 (直通)

0773-62-2300 (代表)

FAX 0773-66-1015

E-mail kankyuu@post.city.maizuru.kyoto.jp

舞鶴市一般廃棄物最終処分場

〒625-0006

京都府舞鶴市字大波上小字田黒 1367 番地 2

電話 0773-63-1101

E-mail m-shobunjou@feel.ocn.ne.jp

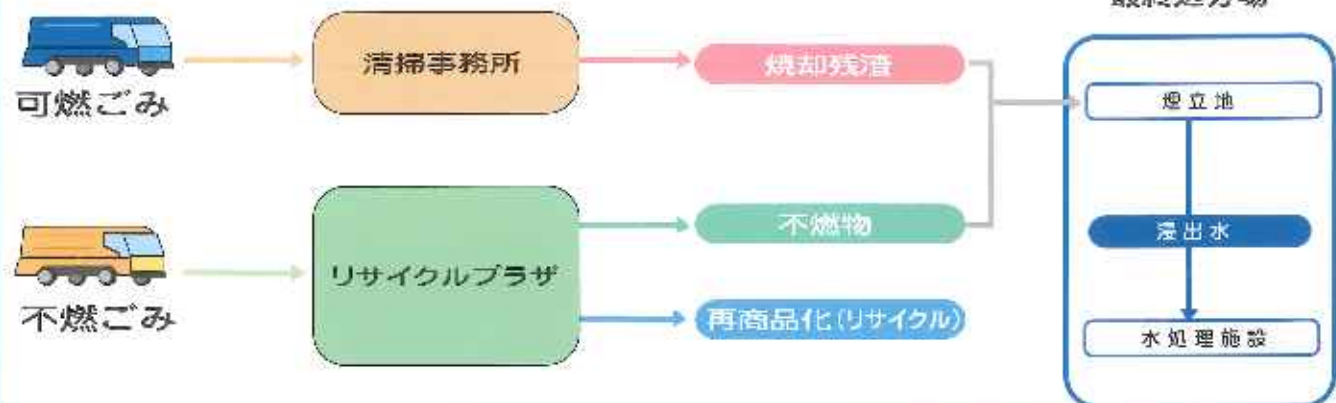


舞鶴市

埋立処理施設

ごみ処理の流れ

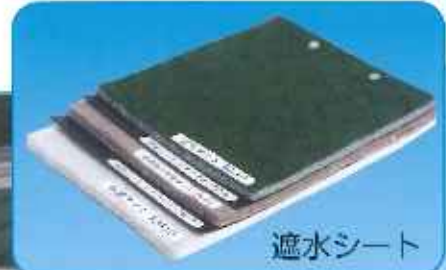
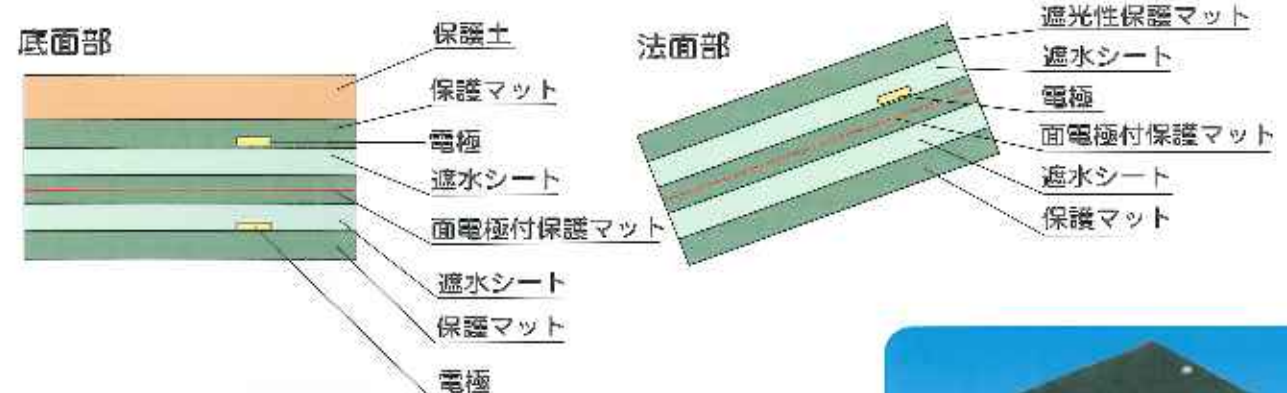
ごみは収集後、それぞれの施設で処理され最後まで残ったものが最終処分場に搬入されます。



遮水構造

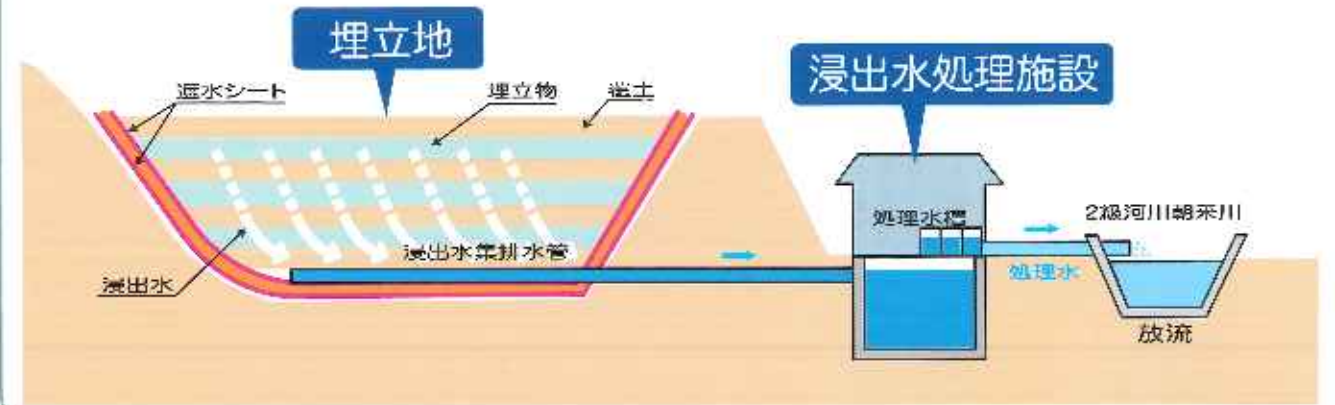
二重の遮水シート

埋立地からの浸出水による公共水域及び地下水の汚染を防止するため、最新技術を用いた遮水シートを二重に敷設し、その両側には衝撃を緩和するための保護マットを設置し、安全性の高い構造にしています。



最終処分場のしくみ

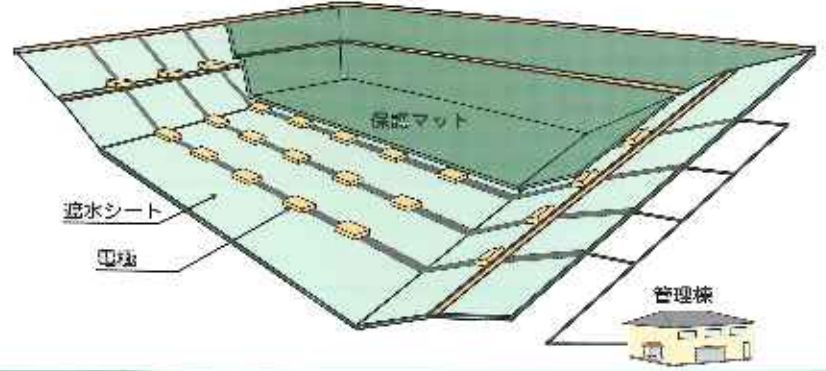
浸出水集排水管に集められた浸出水は、水処理施設で処理を行った後、朝来川へ放流します。



電気式漏水検知システム

最新の技術で安心の電気式検知システム

電気式漏水検知システムは、格子状に配置された電極を用いて、処分場内の電界を測定し、遮水シートを貫いて流れる電流の抵抗値を計測するシステムです。漏水位置の特定精度が高く、地下水や地盤の影響も受けず、しっかりと監視できます。



浸出水処理施設

処理フロー



▲浸出水処理棟



▲管理室



▲監視・操作盤室



▲砂ろ過・活性炭吸着設備

埋立地

調整槽設備

浸出水の水量、水質の変動を調整します。

第1凝集沈殿設備

浸出水中のスケール成分であるカルシウムを炭酸カルシウムとして沈殿除去し、後段でのスケールリングを防止します。

生物処理設備

浸出水中のBOD系汚濁物質と窒素成分を、微生物の働きによって効率よく分解除去します。

第2凝集沈殿設備

浸出水中のSS(浮遊物質)とCOD系汚濁物質を凝集剤の添加により沈殿除去します。

砂ろ過設備

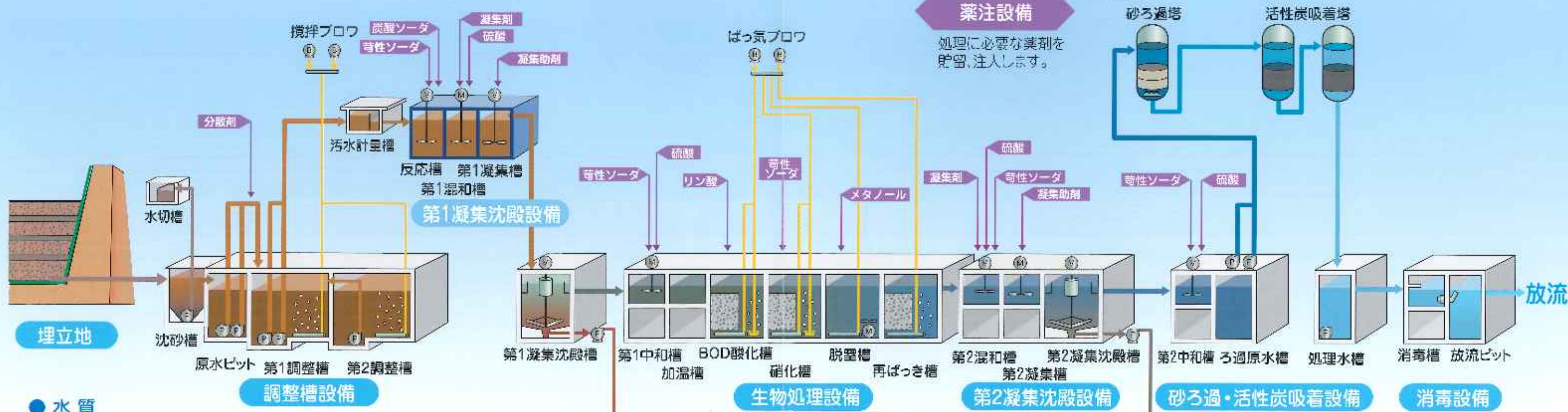
処理水中のSS(浮遊物質)を砂ろ過により捕捉し、除去します。

活性炭吸着設備

極めて微細な汚れの成分(COD、色度など)を吸着除去します。

消毒設備

放流前の滅菌処理をします。



● 水質

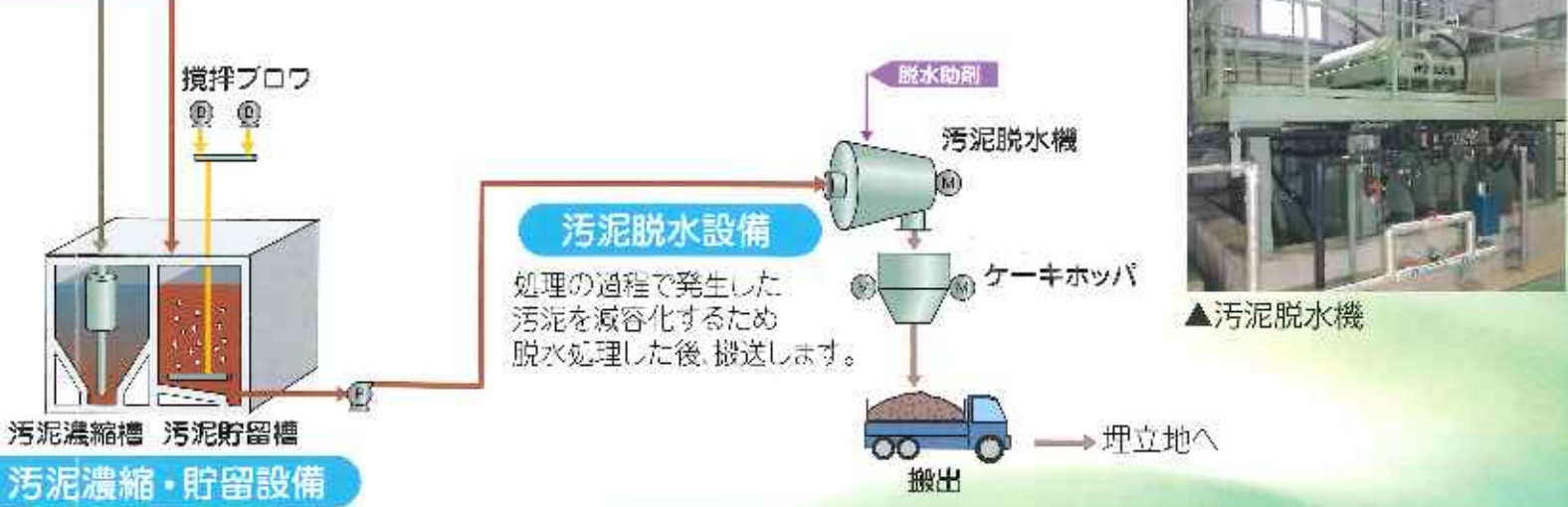
項目	原水	処理水
pH	6.0~9.0	5.8~8.6
BOD (生物学的酸素需要量)	250mg/L	20mg/L以下
COD (化学的酸素需要量)	100mg/L	25mg/L以下
SS (総懸濁物質)	300mg/L	10mg/L以下
T-N (窒素総量)	100mg/L	60mg/L以下
Ca (カルシウム)	2000mg/L	100mg/L以下
大腸菌群数	—	3000個/mL以下
ダイオキシン類	20pg-TEQ/L以下	10pg-TEQ/L以下



▲生物処理設備



生物接触材



汚泥濃縮・貯留設備



▲汚泥脱水機

最終処分場概要

全体配置図



施設の概要

施設名称……舞鶴市一般廃棄物最終処分場
 所在地……舞鶴市字大波上小字田黒1367番地2
 敷地面積……約34,000m²

着工……平成19年10月
 竣工……平成22年 3月
 建設費……約17億円

事業主体：舞鶴市

施工監理：株式会社日建技術コンサルタント

埋立処理施設：大成ロテック・田中・佐伯特定建設工事共同企業体

浸出水処理施設：株式会社神鋼環境ソリューション

埋立処理施設

施設の種類……管理型最終処分場
 埋立面積……18,000m²
 埋立容量……約100,000m³
 埋立期間……約15年間
 埋立物……焼却残渣・不燃物
 埋立方法……セル&サンドイッチ方式
 埋立構造……準好気性埋立
 遮水設備……高密度ポリエチレンシート2重構造

浸出水処理施設

処理能力……80m³/日
 調整槽……3,200m³
 処理方式……カルシウム除去
 生物処理
 凝集沈殿処理
 砂ろ過処理
 活性炭吸着処理
 消毒処理
 汚泥処理方法……汚泥濃縮+脱水処理